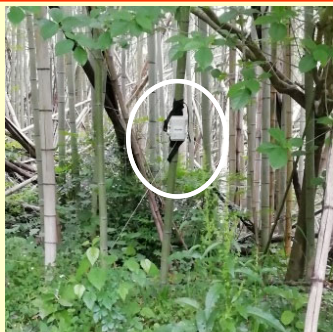


- IoT専用無線プロトコル”LTE、Cat.M1/NB-IoT”を活用した有害鳥獣捕獲センサー(NTTドコモ、KDDI、Softbank通信網より選択)。
- 野生鳥獣が捕獲されるとセンサーが作動し、捕獲情報をメールで通知。
- 有害鳥獣捕獲センサーの設置情報等が鳥獣対策ダッシュボードシステムの地図上に表示。クラウド上にデータが蓄積されるため、対策検討に活用可能。

企業概要

- ・(株)電信
- ・本社所在地: 徳島県徳島市川内町平石若宮121-1
- ・TEL: 088-665-6366
- ・資本金: 2,000万円
- ・従業員数: 45名
- ・広島、大阪に拠点を置く
- ・携帯電話無線中継所の設計・施工・保守を主業としており、施工で培った技術・品質をベースにセンサー販売するだけでなく、設計、製造、販売、設置、施工、保守サポートを一貫して受託。IoTソリューションを活用し地域課題解決に取り組む。



機器情報

機器の概要

- ◇ダッシュボード上の地図情報にわなの設置情報を表示
 - ・有害鳥獣捕獲センサーを稼働させると電波状況、位置情報をキャッチし設置情報を送信。
- ◇野生鳥獣が捕獲されると登録したアドレスに送信
 - ・ダッシュボード上には捕獲情報を表示。
- ◇リモートでセンサーの状態を確認可能
 - ・定期的にセンサーの電波やバッテリー状況が送信される。

使用目的

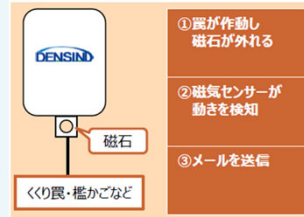
捕獲通知

対象獣種

イノシシ、シカ、サル、クマ

導入効果

- ・箱わな、くくりわなに設置可能
- ・毎日のわな見廻り点検の負担軽減
- ・ダッシュボードによる設置情報、捕獲情報の管理
- ・当社の目撃情報システムと連携し、データに基づく被害対策が策定可能
- ・ID管理によるセキュリティ対策



動作の仕組み

活用技術

- 準天頂衛星「みちびき」を利用
 - 位置情報を高精度に測位し、有害鳥獣捕獲センサーの設置先情報をクラウドに送信、ダッシュボードに表示
- IoT専用無線プロトコル”LTE、Cat.M1/NB-IoT”を採用
 - アルカリ電池4本で約1年間駆動。

導入実績

➢ 京都府南丹市・農山村振興課

センサー6台、鳥獣対策ダッシュボードシステム

＜効果＞

- ・主にクマ対策の箱わなにセンサーを設置
- ・わなの設置場所が確認可能となり、センサーが作動した場合、複数名に通知され、事前準備をしてから現場に行くことが可能
- ・見廻り点検の負担軽減・車両燃料費削減、データの蓄積によりクマ対策の検討に活用

➢ 兵庫県淡路市・農林水産課

センサー50台、鳥獣対策ダッシュボードシステム

＜効果＞

- ・見廻り点検の負荷軽減・車両燃料費削減
- ・データの蓄積により害獣対策の検討に活用

➢ 福岡県久留米市・農村森林整備課

センサー18台、鳥獣対策ダッシュボードシステム

＜効果＞

- ・主にイノシシ対策の箱わなにセンサーを設置
- ・見廻り点検の負担軽減

イニシャルコスト、ランニングコスト

➢ イニシャルコスト

有害鳥獣捕獲センサー(本体) 39,800円(税抜)

➢ ランニングコスト

通信費用(目安) NTTドコモ通信網利用時 月額 300円(税抜)

鳥獣対策ダッシュボード(クラウド)利用料 月額 4,980円(税抜)